

富士山麓堆肥利用促進協議会

(静岡県沼津市、富士宮市、富士市、長泉町)

R3補正
R4当初

17

背景・課題

富士山麓地域において、畜産堆肥の地域内流通を促進し、環境負荷軽減に資する茶栽培を実施するため、
(1) 茶園に適した堆肥生産、(2) 畜産農家と茶農家の連携による流通体制の構築、(3) 茶農家への堆肥利用のインセンティブの創出が必要。

実施年度：令和4～6年度



富士宮市
富士市
長泉町
沼津市

構成員

県農林事務所、市町、JA、畜産及び茶農家

品目

茶

成果目標と達成状況

- 茶園に適した堆肥の生産と適切な施肥量及び堆肥散布機の活用による散布作業時間の削減効果を検証することにより、茶栽培における有機農業の栽培体系の確立を検討する。
- グリーンな栽培体系に取り組む面積（堆肥散布機により堆肥散布を行う面積）
令和4年度：19ha（手散布）→令和11年度：51ha
※堆肥施用による効果を複数年で検証するため、事業は令和4年度～令和6年度の3年間実施。

取組の成果

(令和4年度)

- 堆肥散布機への投入時間について検証した結果、コンテナによる人力投入と比較し、バケットローダーを利用したバラ積み堆肥投入は84%削減、ユニック付き堆肥散布機を利用したフレコン詰め堆肥投入は68%削減となった。
- 堆肥利用に伴う肥料削減効果や協議会の取組を紹介するとともに、堆肥の利用者を拡大するため、啓発パンフレットを作成した。また、堆肥利用拡大につながる茶の有機栽培への取組を促すため、研修会とあわせて有機茶栽培マニュアルを作成した。

○堆肥を茶園に撒く際に必要な設備・作業内容について、茶園での実演会を開催するとともに、効率的な堆肥の投入方法を検討。



○堆肥の利用者を拡大するため、啓発パンフレット及び茶の有機栽培マニュアルを作成・配布。

普及に向けた取組

堆肥の施用効果の調査・分析により、茶園に適した堆肥施用と適切な施肥管理を複数年検証することにより明らかにするとともに、効率的な堆肥の散布方法等を栽培マニュアルに記載する。

問い合わせ先

静岡県富士農林事務所企画経営課 TEL: 0545-65-2197